



長野県No.1 のもも・ネクタリン産地を守ろう！

◆生育状況と当面する重点作業について

現時点での玉肥大は、着果量によって肥大差がある。せん孔細菌病は、河川敷中心に発生がみられる。毛じ障害・うどんこ病が目立っているが、残す場合は、病斑の程度が軽く下側寄りのものを残す。

1. 畦草等を中心にミカンキイロアザミウマが増えてくるので、こまめに除草を行う。
2. ハダニ類の発生が増える時期になる。高温乾燥傾向の場合は発生が倍増するので注意。
発生が増加してからでは対策が取れないため、発生状況を観察し対策を徹底する。
3. 新梢が過繁茂になってくる時期なでの誘引・捻枝・摘心を行い、徒長枝整理を行う。
着果不足園は、特に新梢伸長が旺盛になるので注意する。併せて枝幹の日焼け防止対応策を行う。
4. 定期的なかん水の実施をする。干天が7～10日程度続いたら、樹冠下に集中し20～30mm程度のかん水を行なう。なお、高温が続く場合は、5～7日間隔で行う。
5. 配布されている「葉面散布肥料・特殊資材の使い方」を参考に葉面散布肥料を有効活用する。
 - ①総合的な品質向上対策として、アミノ酸等のケルパック66、友果、オルガミン、モーニングシャイン等を利用する。
 - ②葉の健全化や光合成能力向上として、マグネシウム（苦土）のビックマグ（リーフマグ）、グリーントップ70等を利用する。

【もも薬剤防除】

◆第8回薬剤散布について

1. 散布時期…6月17日（土）～6月22日（木） 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量…水100ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病虫害	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
㊥ デランフロアブル	166mℓ	せん孔細菌病・灰星病・黒星病・ホモプシス腐敗病	7日前まで
㊥ バリアード顆粒水和剤	25g	モモハモグリガ・シンクイムシ類	前日まで

※収穫直前・収穫中の品種への農薬飛散に十分注意する。

2. 散 布 量…10a当り ⇒ 500ℓ 以上
3. 留意事項
 - ①早生品種（たまき・なつき等）は除袋後防除並びに収穫2日前防除の薬剤散布を行う。
 - ②㊥デランフロアブル代えてスターナ水和剤1,000倍（水100ℓに100g・もも前日まで）を使用してもよい。
 - ③ハダニ類の発生が心配される園は、コロマイト乳剤1,000倍（水100ℓに100mℓ／もも収穫7日前まで）を加用散布する。

【ネクタリン薬剤防除】 ※もも・ネクタリン混植園

◆第8回薬剤散布について

1. 散布時期・・・6月17日（土）～6月22日（木） 《実際散布日記入 月 日》

2. 調 合 量…水1000当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
ベルコートフロアブル	50mℓ	灰星病・黒星病	前日まで
㊥バリアード顆粒水和剤	25g	モモハモグリガ・シンクイムシ類	3日前まで

※収穫直前・収穫中の品種への農薬飛散に十分注意する。

2. 散 布 量…10a当り ⇒ 500 ℓ 以上

3. 留意事項

①早生品種(たまき・なつき・アームキング・メイグランド・サマークリスタル等)は
除袋後防除並びに収穫2日前防除の薬剤散布を行う。

②せん孔細菌病の発生が多い場合は、㊥デランフロアブル600倍(水100ℓに166mℓ・もも7日前・ネクタリン14日前)または、スターナ水和剤1,000倍(水100ℓに100g・もも前日まで・ネクタリン収穫7日前まで)を加用散布してもよい。ただし収穫前規制に注意する。

③降雨が多い場合は、ベルコートフロアブルを1,500倍(水100ℓに66mℓ)で使用してもよい。

④ハダニ類の発生が心配される園は、コロマイト乳剤1,000倍(水100ℓに100mℓ/もも収穫7日前まで・ネクタリン収穫7日前まで)を加用散布する。
収穫前規制のため、飛散に十分注意する。

⑤定期防除薬剤に、留意事項記載の農薬を加用散布する場合、農薬効果安定・薬害防止のため、今回の混用薬剤数は、合計4剤までとする。

◆もも・ネクタリン早生種の収穫前管理について

1. 除袋の目安(上枝)

アームキング：6月中旬頃・たまき有袋：6月中旬頃・なつき有袋：6月下旬頃

水野ネク：7月上旬頃

除袋のタイミングは果実の地色が抜け果皮が淡く白冴えになった頃が目安。

2. 葉つみ・・・着色ムラをなくすため果実を覆う葉をつむ。 ※1果当り5～6葉程度が目安。

3. 反射シート・有袋は除袋直後から、無袋は収穫予定日10日前程度から使用する。

4. 薬剤防除

1) 除袋後防除

《実際散布日記入 月 日》

①散布時期…有袋除袋後又は、無袋着色始め(収穫7～10日前頃)

②調 合 量…水1000当り ※混用順に記載。 《実際散布日記入 月 日》

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
ア プ ロ ー チ B I	100mℓ	機能性展着剤	—
スクレアフロアブル	33mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで
アーデントフロアブル	50mℓ	モモハモグリガ・ミカンキイロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日まで

③散 布 量…10a当り ⇒ 500ℓ以上

2) 収穫2日前防除

①調合量・・・水100ℓ当り ※混用順に記載。

《実際散布日記入 月 日》

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
アプローチBI	100mℓ	機能性展着剤	—
(ディアナWDG)	20g	ミカンキロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日まで
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病・ホモプシス腐敗病	前日まで

②散布量・・・10a当り⇒500ℓ以上

③留意事項

- ・ミカンキロアザミウマ・シンクイムシ類・ハマキムシ類の発生が心配される園は、『収穫開始2日前防除』にディアナWDG5,000倍(水100ℓ当り20g・収穫前日まで)を加用散布する。
- ・オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル2,000倍(水100ℓ当り50mℓ・収穫前日まで)を使用してもよい。

◆ももの栽培日誌の提出について

1. 提出要領・・・6月26日(月)までに地区役員さんまで提出して下さい。

※役員さんは6月27日(火)までに各流通センター・共選所まで提出して下さい。

※各個人より、各流通センター・共選所でも結構です。この場合、役員さんに直接持って行く事を連絡して下さい。

2. 留意事項

- ①今回提出用の栽培日誌を配布いたしますので、記入不備の無いよう注意下さい。
- ②**第8回防除まで記入**して下さい。
- ③日誌をチェックし法的に問題がある場合は、荷受けはできません。
- ④日誌のチェックを受けるまで、荷受・選果・販売はできません。
- ⑤提出日より桃の出荷が早まる場合は、各自で出荷前に提出してください。

《栽培に関する問合せ》

寺澤(篠ノ井西部・信田): 080-1188-5229 / 外谷(篠ノ井東部): 080-8048-6602

松橋(松代): 090-4816-6297 / 佐藤(川中島): 090-7179-9866

根津(更北) 080-1203-8576 / 元田(若穂) 282-2002

吉澤(全域・編集担当): 090-2543-0365 / 営農販売部(本所): 292-0930

○果樹のアドバイザー(流通センター長兼務)

松澤(若穂) 080-1191-5166 / 伊藤(篠ノ井東部) 080-2239-6816

松坂(篠ノ井西部) 080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所 / 営農販売部(本所): 292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部 / 農業資材課: 299-3311